

愛國大學 古典叢刊 24

源氏物語

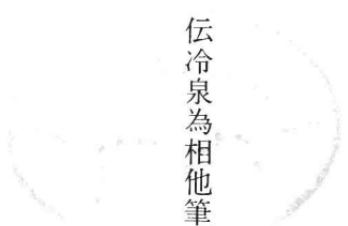
下

伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本

源氏物語

下

伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本



第二期 刊行書目（太字既刊）

大學 愛媛 古典叢刊 24

拾遺和歌集 上 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本
拾遺和歌集 下 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本

15

大海集 上
大海集 下

17

春鑑抄他
景清

20

正統古事談・十訓抄私記
古今著聞集私記

21

源氏物語 上 伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本
源氏物語 下 伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本

22

新古今和歌集 上 伝龜山院・青蓮院道円親王筆
新古今和歌集 中 伝龜山院・青蓮院道円親王筆
新古今和歌集 下 伝龜山院・青蓮院道円親王筆

〈以下三点〉

源氏物語 下 伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本
昭和五十年十月一日發行

編者 伊井 春樹

刊行 大學古典叢刊刊行会

愛媛大學法文學部國語國文學研究室內
松山市文京町三

印刷所 有限公司 青葉圖書印刷部

松山市小栗六丁目三一三

790 松山市小栗六丁目三一三

發行所 青葉圖書

松山市小栗六丁目三一三

電話（〇八九九）四三一一六五
振替 德島 六二一〇

无事并肩雅親



表紙



見返

— 2 —



遊紙才

朱雀漢代(ホウサカイ代)の
アーチ形の構造物

遊紙ウ

を仕て、油のうすを
すこしもまえどくひ、すこ
きに仕て、かねてから
おひきして大ねのあらわしき
手たまごが、こゝにいのうと
おまじんの六歳まことに
のじるまことせりや、お母の
ゆゑで、おまことはまことに
のめられ、おまことはまことに
おまことはまことに

体とやくもぐくをかくはんの御
物とくらべて、おもむろに思ふ。
すがりておきとおもむく、おもむくら
れつまじきしむへんはうすでよろ
ひゆくとくにあらわるが、おもむくいゆ
でくまくとくにあらわるが、おもむくいゆ
といひをきくとくにあらわるが、おもむくいゆ
きく秋浦山からあられむるは
おもむくとくにあらわるが、おもむくいゆ
たがひら角きくとくにあらわるが、おもむくいゆ
えがくおきくとくにあらわるが、おもむくいゆ

わくはんのまきのまき
つまらへとがまくまくまくま
アモ活ねえくかんやまきくの
行すシの御布ワタマサニム
アツヤキセアシシム
シテリハシムシムシムシム
アツヤキセアシシム
アモ活ねえくかんやまきくの
アモ活ねえくかんやまきくの

あねのりとくわらひをさき
むろみとすてむかひのいぢ
志いそへやじこあくとけふ
さくわりとくわらひをさき
えくはうだくはせめぬ
桂の木の葉にあらわす
ゆきとくわらひをさき
おのづくはるかとくわらひ
きよとくわらひをさき
えくはうだくはせめぬ
えくはうだくはせめぬ

とあらうとあれば思ひやうを
まよひくとあらうとあらうと
引てゆくのじよへとせきを
すくはるかにゆくのと
まわしておりとおはなむきとおと
おろすとおもひとおもひとおもひと
おのの女三宮の行なはしと石のと
おおむねとおおむねとおおむねと
おおむねとおおむねとおおむねと

あらひのまへり、むらうとせも、
よしとすと、おぐとくわく、かく今
じゆく、さるま、の日しらかみ
高き人、あめ人、
子ほくちも、いづまく行ふとぞ
と、かくまがり、あらむけり、とく
ゆのまくのまくとくとくとく
まくまくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

二月二十日
にわざのまえ
まき御車をうけにらへて
おゆまむとくわやうさむれ
西神
ひだりそとくわのまえ
たゞみどりまき御前つる
あの方
じくわんとえきわんとくえ
れらめやすおわきくわく
まきわくわくわくわくわく
きくわくわくわくわくわく
せきわくわくわくわくわく
はくわくわくわくわくわく